

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード 030516
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ 62
		関連個別計画	第3次津市消防力整備計画		
担当部局		消防本部			
施策の内容(番号)		050		~	053

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。	A	①	消防総務課 /消防救急課 /通信指令課
051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。	A	①	消防救急課
052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。	A	①	消防団統括室
053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。	A	①	予防課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516050
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画 第3次津市消防力整備計画(平成30年度～令和9年度)					
担当部局		消防本部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		
担当課			何		決算額 (千円)	今後の方向性		
050-1	消防庁舎整備事業	北消防署の整備工事	効	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る	◆ 北消防署整備に係る関連工事		◎	第三次津市消防力整備計画に基づき建築工事に着手した。今後、令和5年度末の整備完了を目指して事業を推進する。
	誰		市民	◇ 適切な工事		◎		
	何		安全と安心の確立	262,404 (千円)	拡充・充実			
050-2	消防車両購入事業	救急自動車の購入	効	救急車を要請した傷病者に必要な処置を実施、医療機関へ搬送する	◆ 救急自動車の購入		◎	第三次津市消防力整備計画に定めた更新基準に基づき更新した。今後も当該計画に基づき更新していく。
	誰		傷病者	◇ 傷病者に必要な処置を実施、医療機関へ搬送する		◎		
	何		迅速に医療機関へ搬送する	25,836 (千円)	拡充・充実			
050-3	消防指令センター共同運用基礎調査	消防指令センター共同運用基礎調査(津市、鈴鹿市及び亀山市)	効	災害情報の一元化、大規模災害時の円滑な応・受援体制の確立、整備費用の低廉化	◆ 消防指令業務共同運用に係る法定協議会の設立、検討会の実施		◎	令和4年度は、当該事業に係る法定協議会を事業計画どおり設立するとともに、より詳細な検討を3市で進めることができた。今後も事業推進に向けて、実施設計、関連工事の発注準備に適切に取り組む。
	誰		市民	◇ 消防指令業務共同運用の推進		◎		
	何		地域全体の消防力の強化	284 (千円)	拡充・充実			
050-4	部隊装備の充実	本市の緊急消防援助隊に係る装備等の整備	効	大規模災害等発生時の現場指揮本部、隊員の活動拠点、被災者の応急救護所等に活用	◆ 拠点機能形成車(無償使用車両)の配備		△	拠点機能形成車(国からの無償使用車両)の配備が遅れており、積載資機材だけが先に配備されたため、現在は当該資機材のみ運用している。当該車両が配備され次第、正式に運用する。
	誰		災害へ対応する隊員、被災者等	◇ 災害へ対応する隊員、被災者等のために使用		○		
	何		大規模災害等発生時、各消防部隊の機能を発揮させたり、被災者を救護したりするため	0 (千円)	拡充・充実			
050-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和4年度分)

050-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
050-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
050-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
050-9			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
050-10			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A					
今後の方向性	①	①	②	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		管理コード	030516051
	計画	基本政策	05	いざという時の備えの強化		本冊ページ	62
		施策	16	消防力の強化			
	関連個別計画						
担当部局	消防本部						
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。					

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
051-1	救急救命士養成研修事業	救急救命士養成のための研修	効	救命率の向上	◆ 救急車に搭乗する実働救急救命士の確保	◎	救急救命士の計画的な養成を達成できた。今後も計画的に救急救命士を養成していく。
	誰		市民のため	◇ 救急救命士の実働人数	◎		
	消防救急課		何	専門的知識及び技術を持つ救急救命士を養成する	4,692 (千円)	拡充・充実	
051-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
051-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
051-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
051-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

051-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
051-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
051-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
051-9			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
051-10			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		管理コード	030516052
		基本政策	05	いざという時の備えの強化		本冊ページ	62
		施策	16	消防力の強化			
	関連個別計画						
担当部局		消防本部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価事業評価		
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	決算額 (千円)	今後の方向性	
052-1	消防団施設整備事業	消防団車両の購入	効	消防団車両を更新配備して、消防力の強化を図る	◆ 第三次津市消防力整備計画に基づき更新する		◎	第三次津市消防力整備計画に基づき、芸濃方面団ささゆり分団広報車を更新した。今後も当該計画に基づき、消防団車両の充実を図っていく。
	消防団統括室		誰	市民	◇ 車両整備の実績		◎	
052-2			何	安全・安心を守る	2,706 (千円)		拡充・充実	
			効		◆			
			誰		◇			
052-3			何		(千円)			
			効		◆			
			誰		◇			
052-4			何		(千円)			
			効		◆			
			誰		◇			
052-5			何		(千円)			
			効		◆			
			誰		◇			

施策の内容評価シート(令和4年度分)

052-6	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
052-7	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
052-8	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
052-9	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			
052-10	効	◆	(千円)	
	誰	◇		
	何			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		管理コード	030516053
		基本政策	05	いざという時の備えの強化		本冊ページ	62
		施策	16	消防力の強化			
	関連個別計画						
担当部局		消防本部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
				何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
053-1	消防法令違反是正強化事業	市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導を強化する	効	市内の防火対象物を利用する者が、安心して使用できる	◆ 市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導の強化	◎	重点的に重大違反対象物を査察、是正指導するとともに、違反是正研修受講者が効果的にサポートすることで、年度内に重大違反防火対象物21施設の是正が図れた。今後も、重大違反対象物の是正指導を強化する。
	誰		市内防火対象物の利用者	◇ 改善状況等	○		
	予防課		何	安心して使用できる	27 (千円)	現状維持	
053-2	住宅防火対策推進事業	住宅防火対策を促進する	効	市内に居住する高齢者等の火災時の逃げ遅れを防ぐことができる。	◆ 住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の呼びかけ	◎	火災予防運動等でのポスター掲示や、広報津、津市HP、津市FBの活用、津まつり等のイベントでの広報、職員が住警器調査を兼ねて戸別訪問することによる広報などを実施した。その結果、住宅火災は前年比2件増加したが、自損を除く死者数は前年比1人減少した。今後も住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の広報を促進する。
	誰		市内居住の高齢者等	◇ 設置状況等	○		
	予防課		何	火災時の逃げ遅れを防ぐことができる	875 (千円)	現状維持	
053-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
053-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
053-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

053-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
053-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
053-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
053-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
053-10	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

